



かなえるレター



K A N A E R U L E T T E R



今号の表紙

欧風刺繍

大阪市東淀川区 Y様



理学療法士
長瀬

元々、お好きだった刺繍などの手作業。腰痛や肩の痛みで控えておられたそうです。訪問リハビリで指導させていただいたストレッチなどの自主訓練を熱心実施いただき、長時間の手作業を再開できるようになりました。



ご利用者からの”投稿募集”



かなえるレターではご利用者の投稿を募集しています。あなたの作品をこの紙面で発表してみませんか？詳細は郵送、FAX、メール、または訪問スタッフまでお問い合わせください。あなたの投稿をお待ちしています。

かなえるリンク

検索

かなえるリハビリ 訪問看護ステーション

〒550-0015
大阪市西区
南堀江1-16-15
名城ビル4階D号室

TEL 06-6531-3500
FAX 06-6531-3510

ご利用者数 (H29/8/17時点)

介護保険…	1,049名
医療保険…	434名
その他 …	11名

計 1,494名
(社員数121名)

かなえるリハビリ 訪問看護ステーション都

〒604-8375
京都市中京区
西ノ京池ノ内町19-11
御池KSビル202号室

TEL 075-803-0536
FAX 075-803-0537

ご利用者数 (H29/8/17時点)

介護保険…	279名
医療保険…	51名
その他 …	0名

計 330名
(社員数25名)



せっかく産まれたのだから 楽しく生きたい

45歳の柳橋さまは、行動力もあり、考え方がとても印象的な方です。今回、「かなえるレターに載ってみたい」とのご希望があり掲載させて頂きました。

▶H元年.4月	作業所にて勤務開始
▶H11.4月	ひとり暮らしを開始
▶H28.10月	訪問リハビリを開始
▶H28.12月	趣味のドラムを始められる



楽器店にてドラムを叩かれてる様子



作業所にて陶芸の様子

「ひとり暮らし」への 思いと決心

柳橋さまは筋肉のコントロール、姿勢の保持や手足を動かすことなどが困難となり、自分の意思とは無関係に体が動いてしまう「アテトーゼ型脳性麻痺」という病で、発語も難しく、文字盤などを使ってコミュニケーションを取られます。

現在、実家を離れ、ひとり暮らし。家事や食事の用意、入浴など訪問介護サービスを利用しながら20年近く過ごされてきました。ひとり暮らしを始めたのは28歳の時、「親がいつまでも居るとは限らない。その時に困らないように、今のうちに親のいない生活を送れるように」との思いから、決心されました。

とにかく 楽しく過ごしたい

福祉作業所に20年以上勤務し、石鹸や陶芸品などの製作・販売に携わっておられます。休日は、電動車椅子に乗り、電車を利便して梅田などの繁華街に出かけることが多く、お買い物や外食を楽しめます。

また、多趣味な方で過去に「車椅子ダンス」や「車椅子サッカー」などされてきました。現在の趣味は「ドラム」。お知り合いの楽器店のご協力で月に一度、店内でドラムを叩かせていただいているそうです。リハビリの中でも、ドラムを叩く動きを取り入れ、姿勢を整える訓練を行っております。

趣味について伺うと「せっかく産まれてきたのだから、色んな事に挑戦し、人生を楽しく過ごしたい」と笑顔を見せてくれました。

とにかく積極的な方で、物事に消極的な人を見ると「もったいないなあ」と感じ、「障がい者は普通にしていたら皆と同じスタートラインに立ってない。だから自分から動いて行くしかない」と話されていたのが、とても印象的でした。

今回、柳橋さまご本人より「かなえるレターに載ってみたい」とお話をいただきました。本当に人との交流が大好きな方で「記事を通じて自分の事を知って貰い、新しい交友関係に繋るきっかけとなれば良い」と思っていただけでした。

積極的に活動される反面、病状のこともあり身体への負担や痛みが出やすい事があります。

今後も柳橋さまにアクティブな生活を続けて頂けるよう、サポートしていきたいと思えます。

リハビリ

豆

知

識

誤嚥性肺炎の予防



言語聴覚士
福沢 ひとみ

最近、テレビでもよく聞く“誤嚥性肺炎”をご存知ですか？誤嚥性肺炎とは、飲んだり食べたりするときに、口から食道へ入るべきものが気管から肺に入ることを言います。飲食物以外でも口腔内を清潔に保てていない場合に細菌を含んだ唾液などの分泌物や、一度飲み込んだものが逆流して胃内容を誤嚥することもあります。

誤嚥の兆候

- ◆むせる ◆咳が出る ◆食後、疲れる
- ◆食事の時間が長くなった
- ◆のどに食べ物が引っかかる違和感
- ◆口の中に食べ物が溜まる
- ◆食欲の低下・体重の減少



左記の兆候が見られた場合は
**いち早く
医療機関へ受診**

誤嚥性肺炎の症状

- ・食事中むせる
- ・呼吸が苦しい
- ・食事後5～6時間後に高熱がでる
- ・痰の色が濃く、痰量が多くなった

誤嚥を予防するには…

①食事の形の工夫

硬いものが噛みにくく、飲み込みにくい場合は、柔らかい食べ物に変え、飲み込みやすい食材に変える工夫が必要です。また、飲み物でむせるときは、少しずつ飲んだり、とろみをつけます。

②姿勢の工夫

座って食べることで、またベッド上であれば角度をつけることが必要です。また、食後の逆流を防ぐために、食べたあと、約30分は座った姿勢での休憩が必要になります。

③口の中を清潔に保つ

食べ物が口の中に残ると、口の中に細菌が増え、誤嚥を起こしやすくなります。食後は歯や舌を磨き、うがいなどで口腔内を清潔に保つことで、誤嚥を予防することができます。

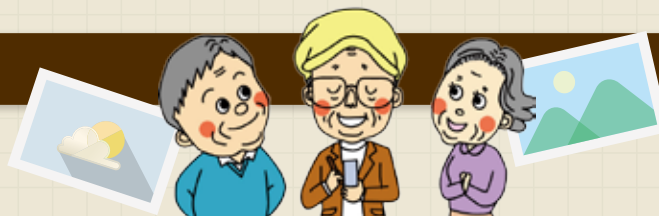
ご利用者「投稿コーナー」

作品

「書道」

ご本人が文字を書かれ、奥さまが絵を書いておられます。毎月1作、季節感ある作品を制作されていますので年末には一年分を通して拝見するのが楽しみです。

∞ 担当: 作業療法士 野本



大阪市
住之江区
阿部様



※あなたの作品をこの紙面で発表してみませんか？

詳細は郵送、FAX、メール、または訪問スタッフまでお問い合わせください。あなたの投稿をお待ちしています。



かなえる
TOPIC

第2回かなえる勉強会 「リハビリテーションの 役割を学ぶ」

株式会社かなえるリンク
教育研修課 責任者 門田 淳志

平成29年8月20日(日)、
当社主催で第2回かなえ
る勉強会「リハビリテー
ションの役割を学ぶ」を開
催しました。

この勉強会は、社内外
問わず、医療・介護分野に
関わる専門職として、病
院・施設・在宅と様々な環
境で活躍する療法士がさ
らなる活躍の場を広げ社
会に貢献できるための一
助となりたいという思い
から、研鑽の場として企
画し、約100名のご参
加をいただきました。

1部では当社かなえる
リハビリ訪問看護ステー
ション所属の作業療法士
目良幸子から「地域での
緩和ケアについて」をテー
マに講義させていただき
ました。まず「緩和ケア」と
は何かという説明があり、
苦痛の予防と緩和を行う
ことで、生活の質を改善す
るアプローチであるとい
うことを共有できました。
また、「緩和ケア」に対する
リハビリ職の役割として、
具体的に身体的・精神的・
社会的な苦痛などに対し
ての環境調整やコミュニ
ケーション、リハビリに関
わることにより「どのよう
に死を迎えるか」ではなく
「どのように自分らしく
生きるかを最後まで支え
ること」の大切さを考える
内容でした。近年、緩和ケ
アが注目されるように
なっており、参加者もその

役割の大切さを学ぶ良い
機会となりました。

2部では、森ノ宮医療
大学 保健医療学部 理
学療法学科 教授の堀竜
次先生に「身体所見 バイ
タルサインから見た呼吸・
循環器疾患の病態把握」
をテーマに、ご講義いた
だきました。呼吸器疾患と
は主に気管や肺等の呼吸
器に起こる疾患で、循環
器疾患とは心臓や血管等
の循環器が関わる疾患と
なります。講義では、病態
を把握するポイントとし
て、血圧や脈拍などの測
定数値が正常値であって
も健康とは限らず、身体
所見を見ることの重要性
とその把握の方法につい
てお話いただきました。た
とえば、測定数値に異常
がなくても、呼吸の乱れや
唇の色味、むくみの状態
や脈の拍動の様子など併
せて観察することで得た
情報から私たちの対応方

法も変えなければいけな
いということに気がつきま
す。リハビリ職として測定
数値と身体所見を統合し
て病態を捉える事の重要
性を深く学びました。



森ノ宮医療大学 保健医療学部
理学療法学科 教授 堀 竜次 先生



かなえるリハビリ訪問看護ステーション
作業療法士 目良 幸子

今後も弊社では社内外
において、勉強会の定期開
催により、リハビリ職の知
識と技術の向上、社会貢
献に繋がる取り組みを
行っていく予定です。



朝夕にはかすかに秋の気配を感じます。皆様いかがお過ごしでしょうか？今号「ご利用者とともに」でご紹介させていただきました柳橋さま。物事に対して非常に積極的に取り組まれる方で、かなえるレター掲載にもご本人よりオファーをいただきました。柳橋さまの自ら進んで取り組む姿勢に私も感銘を受け、仕事、プライベートでも新しいことにどんどん挑戦し、豊かな人生を送りたいと思いました。

編集者 広報課 川口 智之

